

中学校の部活動ってどう変わるの？

荒尾市教育委員会

令和5年度から令和7年度の3年間を部活動地域移行の改革推進期間として、日本全国で中学校の部活動の地域移行が進められています。

そこで、荒尾市ではどのように変わっていくのかを説明します。

部活動の現在の課題

- ▲少子化に伴う部員数の減少 → チーム編成が困難に
- ▲生徒や保護者のニーズの多様化 → 一斉指導が困難に
- ▲指導を担う教職員の負担感増（競技経験のない教職員が顧問になることも）



課題解決のために…

- 令和5年度に部活動の在り方検討会議を立ち上げ、地域移行についての協議を開始。
- これまでの部活動の意義や役割を残しつつ、持続可能な部活動とする。
- 令和7年度末までに休日（土日・祝日）の部活動を可能な部活動から地域移行していく。
- 平日の部活動はこれまで同様、教職員や外部指導者が行う。

【今後の部活動の平日と休日のイメージ図】

	学校部活動（平日）	地域部活動：休日（土日・祝日）
位置づけ	学校教育活動の一環	地域のスポーツ・文化活動
指導者	教職員・外部指導者	地域の指導者 （地域人材や外部指導者） （教職員の兼職兼業）
事故等で 係る責任等	学校	活動を運営する団体等

【地域移行のイメージ】

平日はこれまでと同様に学校部活動、休日（土日および祝日）は原則として地域部活動として、地域の指導者が指導に当たる方向で進めています。

運営主体も地域で行い、中学生の運動部・文化部の活動が実施できる環境の維持・向上を図っていきます。

※学校と地域が協働で行う部活動に変わるものであり、部活動がなくなるわけではありません。

部活動の地域移行についての協議はまだ始まったばかりです。

保険等の扱いも平日と休日（土日・祝日）では異なってくることが考えられます。

その他、部費等についても協議の必要性が残されています。

なお、今後休日指導に携わりたい地域の方は、下記までご連絡ください。